


# くすりのしおり・注射版

620004863  
2011年6月改訂

この薬の名前は	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品名： <b>フォリスチム注 50</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品名：Follistim Injection 50</li> <li>一般名：フォリトロピンベータ (遺伝子組換え) 注射液</li> <li>適用区分：生物由来製品</li> <li>処方せん医薬品</li> <li>注意－医師等の処方せんにより使用すること</li> <li>医薬品コード：2413405A1023</li> </ul>	
この薬の働きは	<ul style="list-style-type: none"> <li>卵胞を刺激する作用により排卵を誘発します。</li> </ul>		
注射のまえに確認すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>次のような人は注射のまえに主治医に申し出てください： 以前に薬を飲んで、または注射を受けて、発しんやかゆみなどが出たことがある。 乳癌またはその疑いもしくは既往歴がある。子宮内膜癌またはその疑いがある。卵巣、下垂体、または視床下部に腫瘍がある。 子宮筋腫がある。子宮内膜症がある。乳癌家族素因が強い。乳房結節がある。乳腺症がある。 乳房レントゲン像に異常がみられた。原因不明の不正出血がある。多のう胞性卵巣症候群を原因としない卵巣のう胞または卵巣腫大がある。 妊娠または妊娠している可能性がある。授乳している。</li> <li>この注射を行う期間：通常7日間注射した後に、卵胞の発育の程度を観察しながら、注射する量や期間を決めます。</li> <li>注射の方法：通常1日1回、皮下または筋肉内に注射します。</li> <li>その他：</li> </ul>		
副作用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬は人によって、目的の効果以外に、望ましくない作用が出る場合もあります。</li> <li>◎次のような症状に気づいたら、すぐに主治医や薬剤師、看護師に申し出てください： 〈卵巣過剰刺激症候群〉骨盤の強い痛み、吐き気、お腹の痛み、お腹の張りを感じたり、下痢を含む胃腸症状、呼吸をしにくい、尿の量が少ないなどの症状、急激な体重増加など (この副作用を防ぐために、超音波検査や、血中のホルモン量を検査することがあります。) 〈血栓塞栓症〉局所の痛み、圧痛、赤い発疹、浮腫、熱感、表在静脈の腫れた状態、皮膚の変色、呼吸をしにくい、胸の痛み、意識がうすれたり判断力が低下するなど この薬を使用した不妊治療では〈流産〉や〈子宮外妊娠〉がおこりやすいこと、また〈多胎妊娠(双子妊娠等)〉の確率が高まります 〈アレルギー反応〉皮膚のかゆみ、赤い発疹、皮膚のかゆみを伴う腫れなど</li> <li>◆次のような症状に気づいたら、早めに主治医や薬剤師、看護師に相談してください：</li> </ul>		

\* ここには、知っておいていただきたい主な事柄だけが書いてあります。更にくわしく知りたい時は、主治医や薬剤師、看護師におたずねください。

# くすりのしおり・注射版

620004863  
2011年6月改訂

	<p>◇上記のほかに次のような副作用が出る場合があります：</p> <p>注射部位の〈皮膚の下部が傷ついた状態〉、〈赤くなった状態〉、〈はれ〉、〈かゆみ〉、〈痛み〉、〈腹痛〉、〈頭痛〉、〈お腹の張り〉、〈吐き気〉、〈卵巣が腫れる〉</p> <p>・他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。</p>		
注射のあとに注意すること	<p>・この薬の投与に引き続き、ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン製剤を投与した時、血栓塞栓症などを伴う重篤な卵巣過剰刺激症候群が現れることがある。</p>		
その他	<p>・</p>		
説明日	年 月 日	説明者	

\* ここには、知っておいていただきたい主な事柄だけが書いてあります。更にくわしく知りたい時は、主治医や薬剤師、看護師におたずねください。